

## 第 22 回スペクトル管理 SWG 議事録

1 . 日時：平成 17 年 1 月 28 日(金) 11:00 ~ 18:30

2 . 場所：TTC 事務局 4 F DE 会議室

3 . 出欠者

出席会員数 / 全会員数 ... 24 / 34 (出席数には議長委任状 5 を含む)

出席委員数 / 全委員数 ... 36 / 66 (出席数には議長委任状 6 を含む)

以上により会議は成立した。

4 . 会合資料：議事次第，議事録，課題表，JJ100.01 第 3 版ドラフト，各種寄書

5 . 議事要約

5-1. 新サブリーダー紹介

5-2. 前回議事録の承認<SMS-22-01>

承認された

5-3. 議事次第について

- ・その他の方式の課題<SMS-22-04 改定版 LRB-VDSL のスペクトル適合性について>は順番を最後に変更する。

- ・<SMS-22-17>は「3.5.2 第 3 版に基づく適合性確認」の議題に含める。

5-4. 議事録担当は(株)長野県協同電算

5-5. 課題表の確認

- ・課題表<SMS-22-02>:変更なし

- ・課題の扱いと表現について<SMS-22-03>

課題の扱いについて、次回会合までにリーダーおよびサブリーダーがまとめて提案する。

5-6. JJ-100.01 第 3 版に向けて<SMS-22-05>

- ・B 章多重漏話減衰量設計値について 2 月 15 日までに修正編集中。

- ・多重漏話減衰量の数値変更については、新規提案であるので次の版で検討する。

5-7. 第 3 版に基づく適合性確認<SMS-22-06,07,08,09,10,10App,11,11App,12,17,CNXT-TD01>

- ・適合性確認は 1.104MHz を超える周波数を主信号帯域として使用するシステムの場合、1.104MHz 以下の計算結果と 1.104MHz を超える周波数帯の PSD マスクの、第 3 版 G 章規定への適合性を示すこと。

- ・<SMS-22-11>寄書は非公開とする。

- ・クロスチェックについては、通常ルール(計算結果について 3 週間以内に異議がなければクロスチェック OK)を適用する。

- ・<SMS-22-17>は提出元の意向により削除する。(寄書は公開しない)

- ・<SMS-22-CNXT-TD01>内の「G.Boost ワイド」「G.Boost ナロー」は再計算を実施する。

5-8. JJ100.01 第3版での暫定運用<SMS-22-13,14,14App,15,16>

・JJ100.01 第2版にて適合性結果確認されているシステム(暫定運用含む)のJJ100.01 第3版での運用方法を以下のように合意した。

分類(確認済み伝送システム)		第3版での運用方法	合意	
特例措置なし	計算結果変更なし	考慮する必要なし(第3版計算結果とおりの適用とする。)		
	計算結果変更あり	距離延長		
		距離短縮/限界線路長が新たに発生	以下の理由により、第2版での算定結果を担保し、収容ルールは従来通りとする。 ・ユーザ保護及び事業者の運用に影響を生じさせないために、標準改定時において継続性及び整合性は、考慮しなければいけない重要な観点の一つである。	対象システムなし
特例措置あり	長延化を目的にしたシステム	長距離ユーザ向けに提供されてきた伝送システムについては、長距離ユーザを救済する為とした主旨を引き続き尊重し、特例措置(緩和値をもうける)を継続する。	特例継続 or 特例新設 新たな長延化方式については、別途議論する	
暫定措置あり	暫定措置あり	計算結果:距離延長	第3版計算結果とおりの適用とする。 (EU64 が下り OL と組合せの場合、下り OL の延長にともないプラス 250m)	
		計算結果:変更なし	第3版計算結果とおりの適用とする。	
		計算結果:距離短縮	第3版計算結果とおりの適用とする。 (EU64、EUs96、EUs112 は、250mの短縮となる)	
	事後措置含む	(G.992.1AnnexA(sOL)クラスA仕様が該当するが、採用事業者の意見を尊重する)特例措置を継続する。		
	導入が限定的	特例として利用制限を行わないことを継続する。		

・事業者間協議の結果が次のように提案され、SWGにて合意された。

「第3版制定以降の483kHzを越える新たな上りスペクトルを使用する方式の取扱いについては、今後2005年9月を目標に検討する。」

5-9. その他の方式の課題<SMS-22-04 改定版 LRB-VDSL のスペクトル適合性について>は、上記に示した合意事項の新たな方式に含まれるものとする。

#### 5-10. 第3版で記載されなくなった方式の扱い

- ・第2版で記載されている方式でも、第3版に記載されていない場合は、本SWGにて再度スペクトル適合性確認を行う事とする。

#### 6. 今後のスケジュール

- ・次回：3月11日(金) 10:00～
- ・次々回(仮決め)：4月22日(金)
- ・第3版スペクトル適合性確認結果について
  - 各社計算実施(G.Boost も再計算)
  - クロスチェック報告は3週間後を目処にMLへ
  - (株)アッカネットワークスが取りまとめた計算対象システムの適合性結果の取りまとめを(株)NECが実施する。